受益者のみなさまへ

平素は、格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「メロン世界新興国ソブリン・ファンド（年１回決算型）（愛称：育ち盛り（年１決算））」は、2025年５月19日に第18期決算を行いました。当ファンドは、世界新興国ソブリン・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として、現地通貨建ての新興国の政府、政府機関もしくは企業の発行する債券（エマージング・マーケット債券）に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標として運用を行っております。ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

○当ファンドは、投資信託約款において、運用報告書（全体版）に記載すべき事項を電磁的方法により提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記方法により閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により書面で提供されます。書面での提供をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

＜運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法＞
右記のホームページの「ファンド」を選択いただき、当ファンドの「運用報告書（全体版）」を選択いただくと、閲覧およびダウンロードすることができます。
なお、過去５年間の運用報告書（全体版）につきましては「ファンド」頁下の「運用報告書（全体版）過去分」を選択いただくと、閲覧・ダウンロードすることができます。

BNY | INVESTMENTS

メロン世界新興国ソブリン・ファンド(年1回決算型)(愛称：育ち盛り（年1決算))

追加型投信／海外／債券

交付運用報告書

第18期（決算日2025年５月19日）

作成対象期間（2024年５月18日～2025年５月19日）

第18期末（2025年５月19日）	
基準価額	12,802円
純資産総額	151百万円
第18期	
騰落率	△3.7%
分配金（税込み）合計	0円

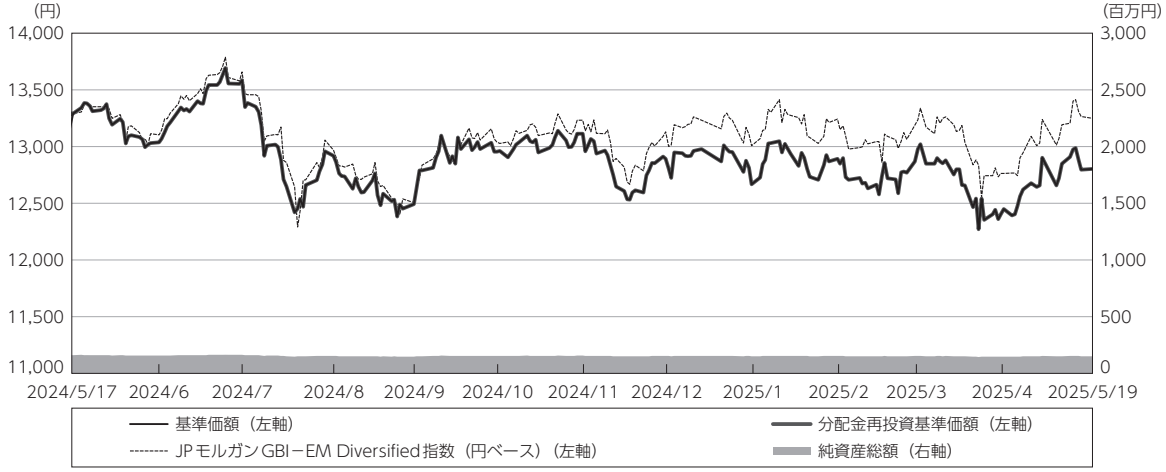
（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第２位を四捨五入しております。
（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社
東京都千代田区丸の内１丁目８番３号
丸の内トラストタワー本館
＜運用報告書に関するお問い合わせ先＞
電話番号：03-6756-4600（代表）
受付時間：営業日の9：00～17：00
ホームページ　https：//www.bny.com/investments/jp

■運用経過

（2024年５月18日～2025年５月19日）

期中の基準価額等の推移



期　首：13,292円
期　末：12,802円（既払分配金（税込み）：０円）
騰落率：　△3.7%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。期首の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）JPモルガンGBI－EM Diversified指数（円ベース）は当ファンドのベンチマークです。詳細は４ページをご参照ください。ベンチマークは、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。

基準価額の主な変動要因

（上昇要因）

・2024年12月、日銀が利上げを見送ったことなどから、為替市場において大幅に円安が進行したこと
・2025年４月後半から期末、米国が関税政策を一部軟化させる方針を示したことなどから投資家のリスク許容度が改善したこと

（下落要因）

・2024年７月から８月、日銀による利上げ実施や、金融市場の急落を受けたリスク回避の動きなどから、為替市場において円高が大幅に進行したこと
・2024年11月、日本の物価高懸念などから日銀の利上げ観測が高まったことや、トランプ次期大統領による政策に対する不透明感の拡大からリスク回避の姿勢が強まる中、新興国通貨が対円で全面安と

なったこと
・2025年３月下旬から４月上旬、米国の関税政策を巡る懸念が強まり、新興国通貨が対円で全面安となったこと

１万口当たりの費用明細

（2024年５月18日～2025年５月19日）

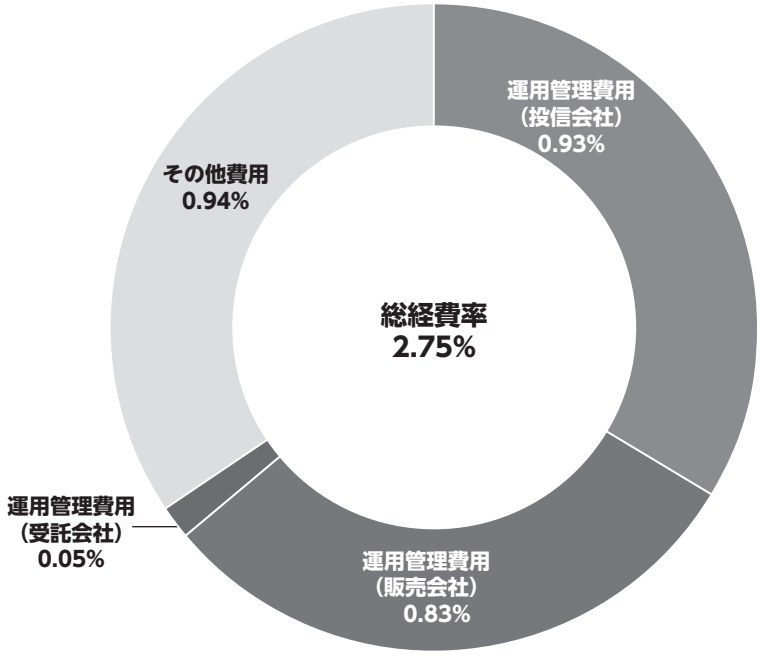
項　　目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	235	1.825	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、12,874円です。
（投信会社）	(121)	(0.940)	信託財産の運用指図、法定開示書類の作成、基準価額の算出等の対価
（販売会社）	(107)	(0.830)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（受託会社）	(7)	(0.055)	信託財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	122	0.949	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(48)	(0.372)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(65)	(0.502)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷）	(7)	(0.055)	目論見書、運用報告書等の印刷・交付等に係る費用
（その他）	(3)	(0.020)	金融商品取引に要する諸費用
合　　計	357	2.774	

（注）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）消費税は報告日の税率を採用しています。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第３位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は 2.75％です。



（注）各費用は、１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）その他費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近５年間の基準価額等の推移

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。2020年５月18日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）JPモルガンGBI－EM Diversified指数（円ベース）は当ファンドのベンチマークです。詳細は以下をご参照ください。ベンチマークは、2020年５月18日の値が分配金再投資基準価額と同一となるように指数化しております。

	2020年５月18日 第13期末	2021年５月17日 第14期末	2022年５月17日 第15期末	2023年５月17日 第16期末	2024年５月17日 第17期末	2025年５月19日 第18期末
基準価額　(円)	9,244	10,593	9,081	11,094	13,292	12,802
期間分配金合計(税込み)　(円)	－	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率　(%)	－	14.6	△ 14.3	22.2	19.8	△ 3.7
JPモルガンGBI－EM Diversified指数（円ベース）騰落率　(%)	－	15.2	△ 12.2	18.8	20.1	△ 0.3
純資産総額　(百万円)	146	154	121	138	161	151

（注）上記騰落率は、１年前の決算応当日との比較で、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

●ベンチマークに関して
JPモルガンGBI－EM Diversified 指数（円ベース）は、現地通貨建て新興国債券市場を代表する指数です。
当指数の著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

投資環境

現地通貨建て新興国債券指数であるＪＰモルガンGBI-EM Diversified指数（円ベース）の当期における騰落率は、△0.3%となりました。

期初から９月中旬にかけて、米国のインフレ鈍化や米連邦準備制度理事会（FRB）による利下げ期待などから、新興国国債を含むグローバルの金利は概ね低下基調で推移しました。また、９月に米連邦公開市場委員会（FOMC）や欧州中央銀行（ECB）の政策理事会において利下げが決定されたことなどを背景に、新興国国債市場は概ね安定的に推移しました。11月のトランプ氏の米大統領選勝利以降は、関税政策を巡る懸念や米中間の緊張の高まりなどを背景に、グローバル金融市場は一時変動が激しくなる局面がみられましたが、新興国債券は米国債利回りの低下や、中国当局による景気対策への期待感、安定的な新興国の経済成長見通しなどを背景に期末まで総じて底堅く推移しました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、世界新興国ソブリン・マザーファンド受益証券への投資を行いました。

世界新興国ソブリン・マザーファンドは、主として新興国の政府・政府機関などの発行する現地通貨建て債券への投資を行いました。以下は当該マザーファンドの運用の状況です。

通貨配分

ルーマニアレイ、韓国ウォンなどをベンチマーク比高めの配分とした一方、香港ドルなどをベンチマーク比低めの配分としました。

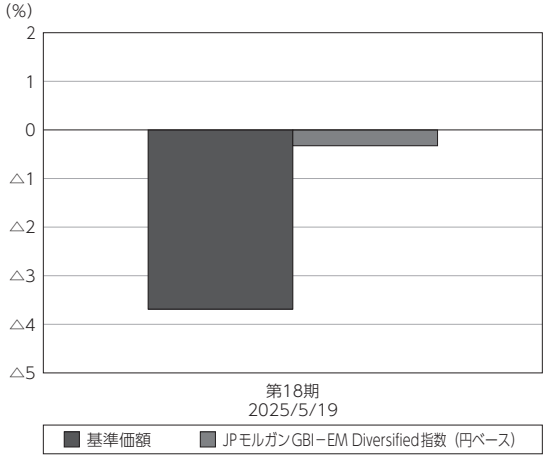
国別配分

ブラジル、コロンビアなどをベンチマーク比高めの配分とした一方、中国などをベンチマーク比低めの配分としました。

なお、運用にあたっては、インサイト・ノースアメリカ・エルエルシーに、運用の指図に関する権限を委託しています。

当ファンドのベンチマークとの差異

基準価額とベンチマークの対比（騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。
（注）ベンチマークは、JPモルガンGBI－EM Diversified指数（円ベース）です。詳細は４ページをご参照ください。

当期の基準価額の期中騰落率は△3.7%（分配金再投資ベース）、ベンチマークであるＪＰモルガンGBI-EM Diversified指数（円ベース）の期中の騰落率は△0.3%となりました。

ベンチマーク比パフォーマンスにおいては、通貨別配分において香港ドルをベンチマーク比低めの配分としていたことがプラス要因となった一方、韓国ウォンをベンチマーク比高めの配分としていたことがマイナス要因となりました。国別配分において、南アフリカをベンチマーク比高めの配分としていたことがプラス要因となった一方、中国をベンチマーク比低めの配分としていたことがマイナス要因となりました。

分配金

当期の収益分配については、基準価額水準等を勘案し、見送りとさせていただきました。

分配に充てなかった収益につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり、税込み）

項　　目	第18期 2024年５月18日～ 2025年５月19日
当期分配金	－
（対基準価額比率）	－％
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	11,741

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

■今後の運用方針

＜当ファンド＞
　引き続きファンドの基本方針に則り、世界新興国ソブリン・マザーファンド受益証券を高位に組み入れた運用を行います。
＜世界新興国ソブリン・マザーファンド＞
　新興国については、中国では景気は弱い動きが依然として見られますが、不動産市場の安定化の兆しや、政府による消費に焦点を絞った支援策などから、2025年には改善が期待されます。その他の新興国においても、米国関税政策による対外セクターへの懸念は継続しており、影響の度合いを考慮する必要があります。例えば、米国に対する主要な供給国であるメキシコは関税による成長見通しへの影響が大きくなる可能性がありますが、他の国では関税緩和が見込まれる国もあります。新興国のインフレ見通しは依然として下向きであることから、安定した為替市場が継続すれば、各国の中央銀行は政策を緩和する余地があり、ブラジルについても、最近の利上げから再び利下げに転じる可能性もあります。こうした中、先進国を上回る新興国の経済成長予測や、先進国に比べて新興国の利回りが相対的に高いことなどが、引き続き新興国債券市場にとってプラス要因になると考えます。
　運用においては、インフレ動向、経済減速、地政学リスク、加えて新興国各国の財政状況などを注視しつつ、良好なファンダメンタルズを有し魅力的で投資価値のあるバランスの取れたポジション構築を目指してまいります。

■お知らせ

約款変更のお知らせ
　当社ホームページのアドレスが変更されたことに伴い、所要の約款変更を行いました。（2025年４月１日付）
　「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正に伴い、運用報告書の交付義務が運用状況にかかる情報の提供義務に変更されたため、所要の約款変更を行いました。（2025年４月１日付）

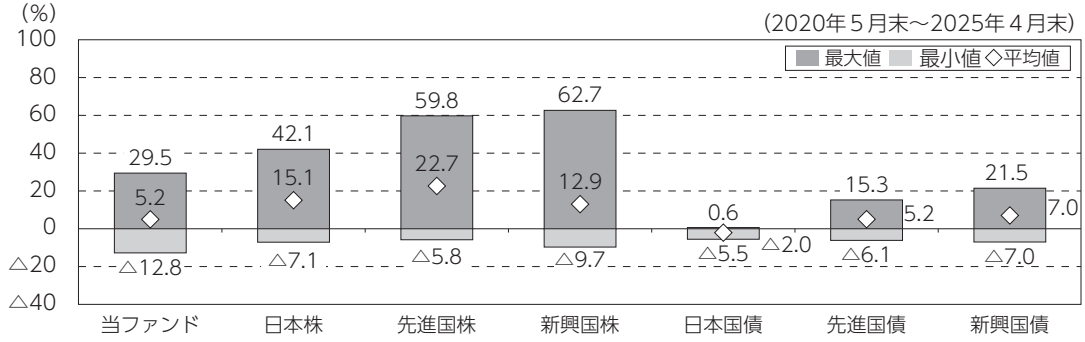
「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正に伴い、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

■当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	信託財産の中長期的な成長を図ることを目標として運用を行うことを基本とします。	
主要投資対象	メロン世界新興国ソブリン・ファンド（年1回決算型）（ベビーファンド）	「世界新興国ソブリン・マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とします。
	世界新興国ソブリン・マザーファンド（マザーファンド）	新興国が発行した現地通貨建ての国債等を主要投資対象とします。
運用方法	①マザーファンドの受益証券への投資を通じて、主として現地通貨建ての新興国の政府、政府機関もしくは企業の発行する債券（エマージング・マーケット債券）に投資します。 ②外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 ③JPモルガンGBI－EM Diversified指数（円ベース）をベンチマークとします。 ④マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高位を維持します。 ⑤市況動向、資金動向その他の要因等によっては、上記のような運用ができない場合があります。	
分配方針	年1回の決算時に、原則として基準価額水準等を勘案して委託者が決定します。ただし、長期的な信託財産の成長に資するため収益分配金を少額に抑えること、または分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



（注）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
（注）2020年５月から2025年４月の５年間の各月末における直近１年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
（注）上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
（注）当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

《各資産クラスの指数》

日 本 株・・・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
株式会社ＪＰＸ総研または株式会社ＪＰＸ総研の関連会社（以下「ＪＰＸ」という）が算出・公表している、日本の株式を対象として算出した株価指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、ＪＰＸに帰属します。

先進国株・・・MSCI － KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）
MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。

新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

日本国債・・・NOMURA － BPI国債
野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA － BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属します。

先進国債・・・FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
FTSE Fixed Income LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

新興国債・・・JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）
J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス － エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

各資産クラスの騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

■当ファンドのデータ

組入資産の内容

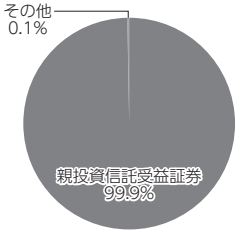
○組入上位ファンド

（2025年５月19日現在）

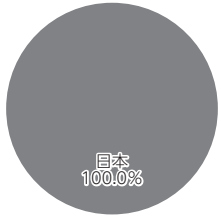
銘　　柄　　名	第18期末
	%
世界新興国ソブリン・マザーファンド	99.9
組入銘柄数	1銘柄

（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

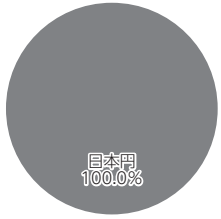
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

純資産等

項　　目	第18期末
	2025年５月19日
純資産総額	151,494,884円
受益権総口数	118,333,570口
１万口当たり基準価額	12,802円

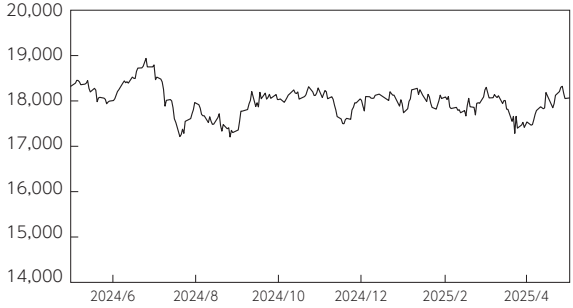
（注）期中における追加設定元本額は54,364円、同解約元本額は3,530,721円です。

組入上位ファンドの概要

◆世界新興国ソブリン・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2024年5月18日～2025年5月19日)



【１万口当たりの費用明細】

(2024年5月18日～2025年5月19日)

項　　目	当期 金額	当期 比率
	円	%
(a) その他費用	69	0.383
(保管費用)	(65)	(0.364)
(その他)	(3)	(0.019)
合　　計	69	0.383
期中の平均基準価額は、17,953円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては、２ページをご参照ください。
(注) 当ファンドの決算は年１回であり、直近の決算期末は2025年５月19日です。

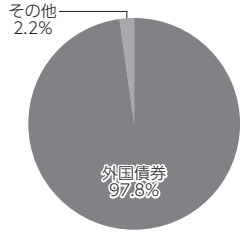
【組入上位10銘柄】

(2025年5月19日現在)

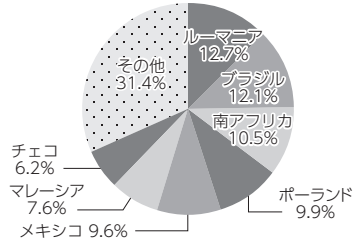
	銘　　柄	業種／種別等	通　貨	国(地域)	比　率
					%
1	5.8% ROMANIA GOVT 07/27	国債証券	ルーマニアレイ	ルーマニア	7.3
2	7.5% POLAND GOVTBOND7/25	国債証券	ポーランドズロチ	ポーランド	6.7
3	3.29%CHINA GOVT BOND5/29	国債証券	オフショア人民元	中国	4.6
4	8.5% MBONO 05/29	国債証券	メキシコペソ	メキシコ	4.6
5	7% REP SOUTH AFRICA 2/31	国債証券	南アフリカランド	南アフリカ	4.4
6	10% FEDERATIVE REP 01/29	国債証券	ブラジルレアル	ブラジル	4.2
7	4.893% MALAYSIA GOV 6/38	国債証券	マレーシアリンギット	マレーシア	3.9
8	10% BRAZIL NTN-F 01/33	国債証券	ブラジルレアル	ブラジル	3.7
9	6.9% PERU B SOBERAN 8/37	国債証券	ペルーソル	ペルー	3.6
10	26.2% TURKEY GOV 10/33	国債証券	トルコリラ	トルコ	3.2
組入銘柄数		43銘柄			

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

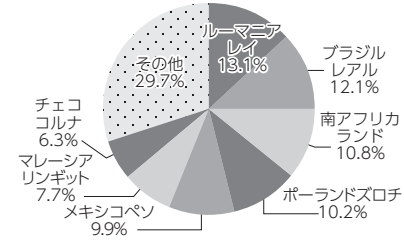
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。通貨別配分につきましては通貨別純資産の比率です。

●当マザーファンドの運用状況につきましては、運用報告書（全体版）をご参照ください。